

「河川環境に関する国際ワークショップ」について



研究第四部 次長 五道 仁実

1. はじめに

2004年10月25日から27日の間、韓国のソウルにおいて「河川環境に関する国際ワークショップ」が開催された。ここではその概要について述べたいと思う。

このワークショップは韓国建設技術研究院(KICT)の主催により、韓国における環境に配慮した川づくりを推進するため、各国から関係者を招き、現地視察、シンポジウム、グループ討議を行ったものである。

2. ワークショップの概要

【期 間】2004年10月25日(月)～10月27日(水)

【開催地】韓国ソウル市

【各国の参加者】

Mr.C.Goeldi (Switzerland)

Dr.A.Dittrich (Germany)

Ms.U.Menke (Netherlands)

Dr.C.T.Yang (U.S.A.)

五道仁実(日本)

【現地視察】

Cheonggye-Cheonの再生事業、Gyeongan-Cheonの湿地再生事業、Yangjae Streamの自然再生事業等の現地視察を行い韓国の現状について説明を受け、意見交換を行った。

【シンポジウム】

各国関係者からの発表の演題は下記のとおり(プログラム順に表記)であり、各人50分の発表と10分の質疑応答が行われた。

①"Guidelines of Nature-friendly River Improvement Works" by Mr.H.Godo

②"Close-to-nature River Techniques for River Improvement Works" by Mr.C.Goeldi

③"River-Engineering Principles and Practice of

Stream Restoration" by Dr.A.Dittrich

④"Design of Riparian Vegetative Zone for Habitat and Water Quality Control" by Ms.U.Menke

⑤"River Improvement and Eco-Corridor Restoration by Weir (small dam) Removal" by Dr.C.T.Yang

3. おわりに

三日間のワークショップに参加して韓国における環境に配慮した川づくりの現状について知ることができた。特に現地視察により韓国における川づくりを実感できたことは貴重な経験であった。また、三日目のグループ討議の場では環境の経済評価や河畔林の水理学的な影響と環境上の役割など、日本においても課題となっている話題について話し合われた。

今後、同じような気象条件を持つ東アジアにおいて、河川環境に関する情報共有、意見交換が活発に行われる必要性を再認識した。



Cheonggye-Cheonの再生事業



Yangjae Streamの自然再生事業



ワークショップ参加者